

●計画策定の趣旨

県民が真の豊かさを実感でき、「暮らしやすさ日本一」と思えるような県づくりに向けた施策・事業等をスピーディーに実行していくため、「チャレンジ山梨行動計画」を平成19年12月に策定しました。

また、策定後の新たな県政課題に対応するため、平成21年12月に施策・事業等の追加など、計画の見直しを行いました。

●計画の性格と役割

行動計画は、県政運営の基本指針となるものであり、時代の潮流を踏まえ、計画の基本理念などを示すとともに、今後、重点的に取り組むべき施策・事業の内容や数値目標、工程などを明らかにするものです。

また、これからの県づくりに当たって、県民の皆様をはじめ、国、市町村、ボランティア、NPOなど、多様な主体との協働・連携を進める上での指針となるものです。

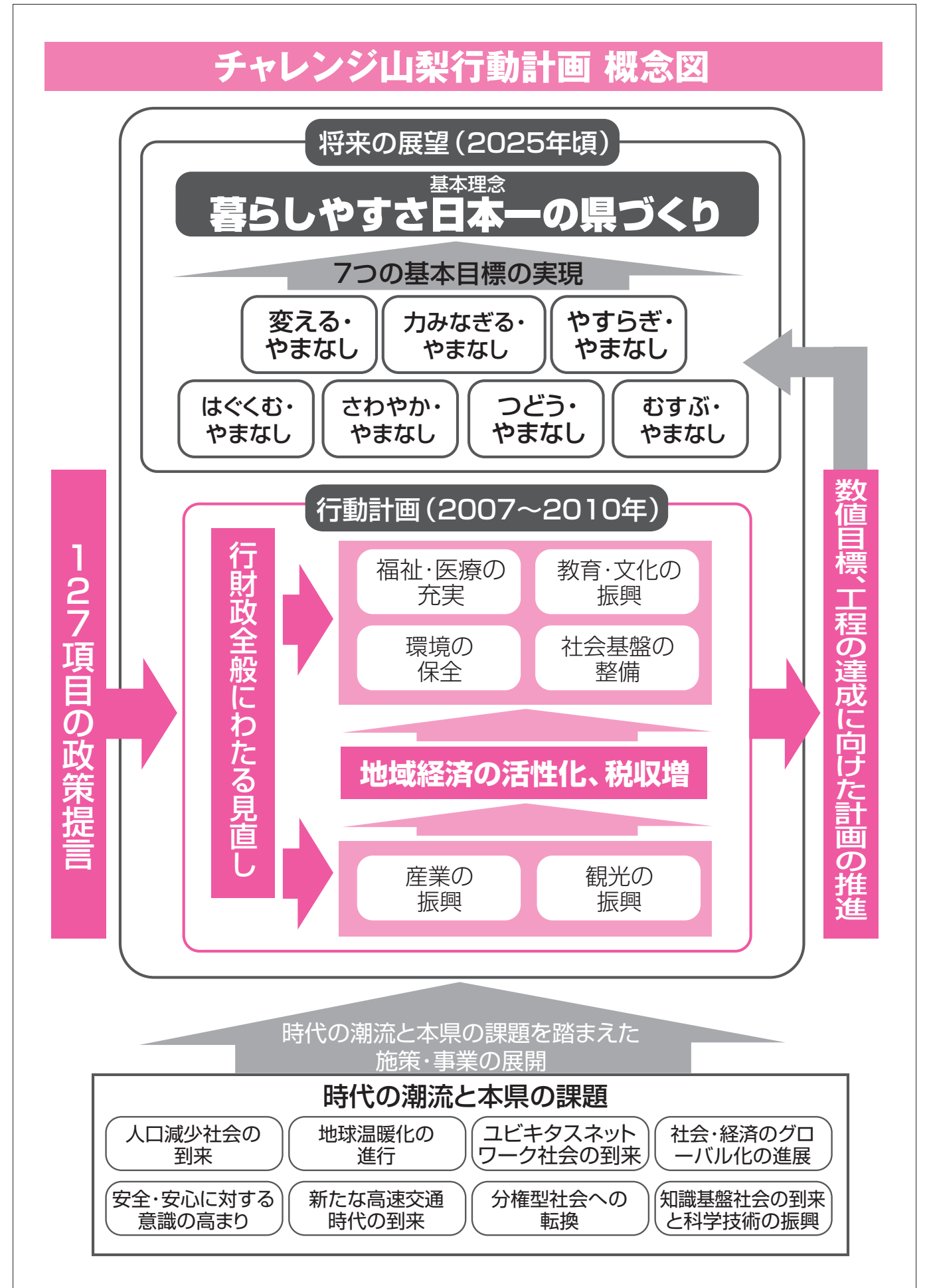
●計画の構成と期間

区分	計画の内容	目標年次
将来の展望	時代の潮流を示しながら、計画の基本理念や21世紀最初の四半世紀末(2025(平成37)年)頃の本県の姿を明らかにします。	2025(平成37)年頃
行動計画	「暮らしやすさ日本一の県づくり」に向け、2007(平成19)年度から2010(平成22)年度までの4年間に取り組む施策・事業の内容や数値目標などを明らかにします。	2010(平成22)年

●計画の基本理念

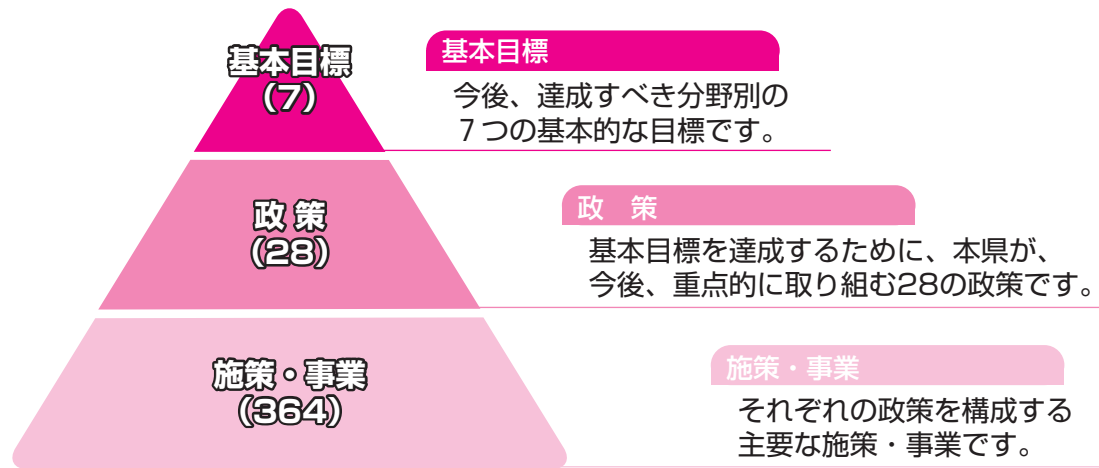
「暮らしやすさ日本一の県づくり」 誰もが真の豊かさを実感できる山梨の実現

- 東京圏に隣接する利便性の高さや田園が持つ自然の豊かさの双方を兼ね備え、活力とゆとりが調和したバランスのとれた「暮らしやすさ日本一」の山梨を目指します。
- 「暮らしやすさ日本一」に向け、当面、取り組むべきことは、地域経済の活性化です。産業活動を活発化することにより、税収を上げ、財源を確保すれば、福祉・医療、教育・文化、まちづくり、安全・安心などに係る施策を充実できます。
- 東京圏に近いという地理的優位性を活かして、先進的企業の誘致、観光客の呼び込み、県産品の販路拡大等の取り組みを戦略的に展開します。



● 施策・事業

「暮らしやすさ日本一の県づくり」に向けた取り組みが、効果的・効率的に実施できるよう、「基本目標－政策－施策・事業」の三段階に区分し、体系化します。



● 7つの基本目標

県庁改革、産業の振興、福祉・医療の充実、教育・文化の振興、環境の保全、交流の拡大、社会基盤の整備など、今後、本県が達成すべき分野別の基本的な目標です。

基本目標1 「変える・やまなし」の実現

～ふるさとの明日を見つめ、おそれず、ひるまず、改革を進めます。～

地方分権が進む中、自己選択、自己決定、自己責任により地域の活性化を図っていくことが求められています。創意工夫をこらし、様々な課題に積極果敢に挑戦する県政を推進します。また、ふるさとの明日を見つめ、おそれず、ひるまず、聖域なき行政改革を大胆に進めます。



知事対話「県政ひざつめ談話」

政策

- 1 創意工夫をこらし挑戦する県政の推進
- 2 簡素でスピーディーな県政の推進
- 3 県民に開かれ、県民とともに創る県政の推進
- 4 地方分権の推進と道州制への対応

主な数値目標	基準値	目標値
職員提案件数	29件 (H18)	300件 (H22)
ネーミングライツ導入による新たな収入	— (H18)	40百万円/年 (H22)
県債等残高の削減 (臨時財政対策債等を除く)	8,631億円 (H18)	8,250億円 (H22)
総職員数の削減率	— (H19.4.1)	4.2% (H23.4.1)
県政クイックアンサー制度による 県民の意見等への平均回答日数	7.2開庁日 (H18)	5.0開庁日 (H22)

主な数値目標	基準値	目標値
予定価格1千万円以上の公共工事の入札における一般競争入札の割合	26.0% (H18)	100.0% (H22)
情報公開度	全国下位 (H18)	全国上位 (H22)
開示請求によらない閲覧可能情報の件数	0件 (H18)	40件 (H22)
新たな市町村への権限移譲推進計画に基づき移譲する事務・団体数	0事務・団体 (H18)	216事務・団体 (H21)

基本目標2 「力みなぎる・やまなし」の実現

～山梨の経済に活気とエネルギーを吹き込みます。～

本県経済の活性化こそが、県税収入の増加、財政基盤の強化に、ひいては、福祉・医療、教育・文化、まちづくり、安全・安心などの施策の充実につながります。農林業から先端産業まで、幅広く産業の振興を図り、山梨の経済に活気とエネルギーを吹き込みます。

政策

- 1 「やまなしブランド」の確立と販路拡大
- 2 未来につながるはつらつとした農業の振興
- 3 健全な森づくりと力強い林業の振興
- 4 地域とくらしを豊かにする中小企業の振興
- 5 新産業創出への支援
- 6 競争力のある商業の振興
- 7 経済・雇用対策の推進



やまなしブランドPRキャンペーン期間中に運行されたADトレイン

主な数値目標	基準値	目標値
ワイン生産額	282億円 (H17)	308億円 (H22)
県産果実の輸出額	177百万円 (H18)	380百万円 (H22)
新規就農者数	71人 (H18)	100人 (H22)
農産物直売所の販売額	3,500百万円 (H18)	5,000百万円 (H22)

主な数値目標	基準値	目標値
素材生産量	56千㎡ (H17)	73千㎡ (H22)
従業員1人当たりの製造品出荷額等 (従業員数4～299人の事業所)	2,258万円 (H18)	2,542万円 (H22)
企業誘致数 (行動計画期間中の累計)	—	50件 (H22)
年間商品販売額増加商店街数	27地区 (H16)	32地区 (H21)
雇用創出数(累計)	—	4,000人以上 (H22)

基本目標3 「やすらぎ・やまなし」の実現

～誰もがいきいきと安心して暮らせる地域社会をつくります。～

行政の最大の使命は、県民の安全・安心な生活を守ることです。地震や噴火、犯罪や感染症などに係る危機管理体制の確立を図ります。また、子育て支援体制を整えるとともに、高齢者・障害者福祉サービスの充実を図るなど、誰もがいきいきと安心して暮らせる地域社会をつくります。

政策

- 1 危機管理体制の確立と地域防災力の強化
- 2 あたたく多様な子育て支援
- 3 安心して暮らせる地域福祉の推進
- 4 県民の豊かな生活を守る保健医療の充実



県立中央病院の助産師外来

主な数値目標	基準値	目標値
住宅の耐震化率	72.3% (H17)	81.0% (H22)
延長保育実施保育所数	126箇所 (H18)	162箇所 (H22)
ファミリー・サポート・センター設置市町村率	21.4% (H18)	39.2% (H22)
認知症サポート医確保率	25.0% (H18)	75.0% (H22)

主な数値目標	基準値	目標値
フラット歩道の整備延長 (県管理道路)	54.0km (H18)	67.3km (H22)
県内医師の増員数	— (H18)	48人 (H22)
救急救命士配置率	74.0% (H18)	98.0% (H22)

基本目標4 「はぐくむ・やまなし」の実現

～ふるさとを愛し、世界に通じる人づくりを進めます。～

人づくりは県政の基本です。山梨の未来を担う子ども達が、学力やたくましさを身に付けられるよう教育環境を整えるとともに、文化やスポーツの振興を図り、ふるさとを愛し、世界に通じる人づくりを進めます。

政策

- 1 豊かな学びを支える教育環境の整備
- 2 個性を活かし未来を拓く学校教育の充実
- 3 明るく活気に満ちたスポーツの振興
- 4 地域における文化・伝統の継承と文化力・教育力の向上
- 5 県立文化施設の整備・活用



県立文学館に「飯田蛇笏・飯田龍太記念室」オープン

主な数値目標	基準値	目標値	主な数値目標	基準値	目標値
学校の自己評価結果を基に外部評価を実施した県立学校の割合	35.0% (H18)	100.0% (H22)	やまなし地域塾への参加者数	— (H18)	2,150人 (H22)
公立小・中学校で認知したいじめの解消率	75.0% (H18)	80.0% (H22)	ミュージアム甲斐・ネットワーク会議参加博物館数	76館 (H18)	120館 (H22)
週3日以上授業以外で運動・スポーツを実施している児童(5・6年生)の割合	48.1% (H18)	62.1% (H22)	県立文化施設(美術館、博物館、考古博物館、文学館)の入館者数	568,391人 (H18)	575,000人 (H19~H22平均)
総合型地域スポーツクラブを設置している市町村率	17.9% (H18)	82.1% (H22)			

基本目標5 「さわやか・やまなし」の実現

～日本一きれいで豊富な水と緑と景観を守ります。～

本県の豊かな自然や日本一きれいで豊富な水と緑と景観を守り、確実に未来へと引き継いでいきます。また、廃棄物の発生抑制、循環的利用、適正処分を推進し、循環型社会システムの構築を図ります。

政策

- 1 豊かな環境の保全と継承
- 2 循環型社会システムの構築



米倉山に建設予定の大規模太陽光発電所(完成予想図)

主な数値目標	基準値	目標値	主な数値目標	基準値	目標値
森林吸収源対策による森林の二酸化炭素吸収量	676千t-CO ₂ (H17)	864千t-CO ₂ (H22)	県民1人1日当たりごみ排出量	1,017g (H17)	937g (H22)
環境教育年間参加者数(学校林活動、環境教室等)	61,449人 (H18)	73,000人 (H22)	産業廃棄物排出量	1,492千t (H17)	1,297千t (H22)

基本目標6 「つどう・やまなし」の実現

～やまなしブランドを活かし県内外の人々が集う癒し先進県をつくりまします。～

美しく豊かな自然、良質な温泉、新鮮でおいしい果物など、本県は「健康」や「癒し」を求める人々のニーズを満たす地域資源を豊富に有しています。こうした「やまなしブランド」を活かし、県内外の人々が安心して集うことができる癒し先進県をつくりまします。

政策

- 1 国内外に向けた山梨の魅力発信
- 2 時代のニーズを満たす多様な観光の振興



「富士の国やまなし」観光物産フェア(香港のジャスコ・コンヒル店にて)

主な数値目標	基準値	目標値	主な数値目標	基準値	目標値
映画、テレビ等ロケ実施件数	129件 (H18)	180件 (H22)	観光客数	44,040千人 (H18)	50,000千人 (H22)
山梨サポーター(やまなし大使及び山梨魅力メッセンジャー)数	1,307人 (H18)	3,000人 (H22)	外国人観光客数	689千人 (H18)	1,000千人 (H22)

基本目標7 「むすぶ・やまなし」の実現

～地域と地域、人と人を結ぶ交流ネットワークを確立します。～

周囲を急峻な山に囲まれた本県にとって、地域と地域、人と人とを結ぶ交流ネットワークを確立していくことは極めて重要です。世界との交流も視野に入れながら、高速道路や鉄道、空港などの交通ネットワークや高度情報社会に欠くことのできない情報ネットワークの整備を進めます。

政策

- 1 県土を形成する骨格道路網の整備
- 2 鉄道の利便性向上と地域航空の検討
- 3 情報ネットワークの活用
- 4 多様な分野における国際交流の推進



甲府駅北口へと延びる都市計画道路 愛宕町下条線

主な数値目標	基準値	目標値	主な数値目標	基準値	目標値
主要渋滞ポイント(全47箇所)のうち解消箇所割合	42.6% (H18)	55.3% (H22)	情報ハイウェイへの接続数	16件 (H18)	55件 (H22)
山梨リアファンクラブ会員数	12,135人 (H18)	15,000人 (H22)	外国人住民支援のための多文化共生施策を実施している市町村の割合	46.4% (H18)	85.7% (H22)